

埼玉 2020/03/31(火)

「埼玉大発」世論調査会社

埼玉大学社会調査研究センター長の松本正生教授が30日、県庁で記者会見し、毎日新聞社などと共同で新たな世論調査会社を設立すると発表した。社名は株式会社「社会調査研究センター」とし、4月1日付で設立。事務所は埼玉大の学内に置き、松本教授が社長に就く。

【平田崇浩】

松本教授は新会社の調査が逆境にある「この設立理由として「世論」とを挙げた。特殊詐欺



記者会見する埼玉大社会調査研究センター長の松本正生教授＝県庁で

本紙などと共同で あす設立 新たな手法構築

の横行などによって、見知らぬ相手からの電話やメールに対する警戒感が高まり、調査対象者へのアプローチが難しくなっている。

③変動する世論を「リアルタイム」で追跡できる――調査だ。

新会社は公的機関か民間事業者かを問わず調査の設計・実施・解析を請け負う予定。松本教授は「調査の全てのプロセスを一貫して担うことができても大事になる」と語った。

「その中でサイレントマジョリティー、自分から声を上げない方たちの意見をどう把握していくか」。そのため新会社は、埼玉大の研究成果と毎日新聞の世論調査ノウハウを基盤に、客観性と精度の高い新たな調査手法を構築する方針だ。

政府は「大学発ベンチャー」の育成を成長戦略の一環に掲げ、経済産業省の調査で200社を超える。埼玉大発は4社目。松本教授によると、世論調査会社の設立事例は「聞

き」を「信頼」してもらえない」とい

目指すのは①対象者が「安心」して回答できる②国民の政治意識を表すデータとして「信頼」してもらえない」とい

(c)毎日新聞社 無断転載、複製を禁止します。